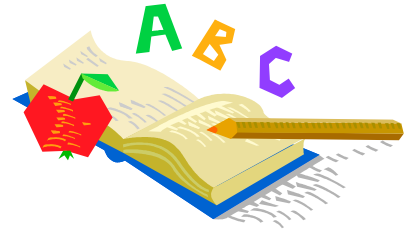


## 舞阪小学校 活動報告

5年 「How many?」 How many を使ってビンゴゲームをしよう！

### Hi, friends1 レッスン3



#### (1) 導入

- ① 挨拶をする。教師や子供が「How are you?」「I'm ~.」を繰り返し行う。
- ② 教師の後に続いて1～20までの数字の発音を行う。

#### (2) 活動1 「ミッシングゲーム」

- ① ゲームの説明を行う。テレビに数字を映し、消えた数字を英語で答える。
- ② 練習を教師の後に続いて行う。
- ③ 教師が英語で「What's missing?」と聞き、児童は消えた数字を「It's ○○.」で答える。
- ④ 正解した児童を「Great」や「Excellent」と学級全員で称揚する。



#### 活動2 「ビンゴゲーム」

- ① 1～20の数字を使って、ビンゴカードに数字を書く。
- ② キーセンテンスの練習を行う。  
「How many apples?」「two apples.」
- ③ リンゴカードを配り、1回目のビンゴゲームを行う。
- ④ 果物をバナナに変えて2回目のビンゴゲームを行う。
- ⑤ 活動を振り返る。



#### (3) 成果

- ① どの子もやりたいという意欲をもって活動することができた。
- ② 児童のもつ情報に差を付けたことで、自分の欲しい数字を探そうと、積極的にかかわりをもつことができた。
- ③ 「クイズに答えたい」「ビンゴを成功させたい」という願いをもって活動したため、児童の交流がスムーズにできた。
- ④ ジェスチャーを活用することで、英語が苦手な児童もコミュニケーションを取れた。
- ⑤ 活動1、2で、1～20の数字を繰り返し練習したため、数字の教え方が身についた。

#### (4) 困ったことや課題

- ① 外国語に対して関心が低い児童がいる一方、英語を習っている児童もいるため、みんなが達成感や満足感を与えるための支援や指導の方法を考えていきたい。
- ② まだ自分の気持ちを英語で表現することができる児童が少ないため、活動を通して語彙を増やしていきたい。